



## 令和7年度建設業労働災害防止強化週間に 滋賀労働局・大津労働基準監督署が建設現場のパトロールを実施

令和6年の滋賀県内における建設業の労働災害は、死亡者数が5人で前年から2人増加、休業4日以上死傷者数が129人で前年から7人増加となりました中でも「墜落・転落」が多く発生しており、令和7年においても「墜落・転落」による死亡災害が発生しています。

また、令和7年6月1日に改正労働安全衛生規則が施行され、職場における熱中症対策として、「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が義務付けられました。

墜落・転落防止対策や熱中症対策をはじめ、建設業における労働災害防止対策を徹底するため、滋賀労働局、各労働基準監督署、建設業労働災害防止協会滋賀県支部の主唱により、令和7年7月20日から26日を「建設業労働災害防止強化週間」（7月1日から7月19日までを「準備期間」、7月27日から31日までを「事後措置期間」と定め、滋賀県内の建設業の店社、建設工事現場に対して、「ゼロ災滋賀」と「命綱GO（いのちつなごう）」を合言葉に、積極的な安全衛生活動の実施を呼びかけました。

また、「建設業労働災害防止強化週間」の取組の一つとして、令和7年7月18日（金）に株式会社竹中工務店京都支店が施工する、株式会社村田製作所（仮称）守山新事業所拠点整備工事を対象に、滋賀労働局長、大津労働基準監督署長、建設業労働災害防止協会滋賀県支部長等による安全パトロールを実施しました。

建設工事現場の詳細については、以下のとおりです。

特定元方事業者：株式会社竹中工務店京都支店  
工事名称：株式会社村田製作所（仮称）守山新事業所拠点整備工事  
所在地：滋賀県守山市浮気町300-14  
工事発注者：株式会社村田製作所  
工期：令和6年3月15日～令和8年12月15日  
進捗率：約43.5%（7月中旬見込み）  
工事概要：地上18階、塔屋2階、S造  
当日実施作業：6節鉄骨建方、内外装仕上工事  
入場者数：約270名



株式会社村田製作所（仮称）守山新事業所拠点整備工事

まず、現場事務所において、滋賀労働局長の挨拶の後、各パトロール参加者の自己紹介が行われ、特定元方事業者の担当者から、工事概要、安全衛生対策等について説明を受けました。先進的な取組として、AIを活用した安全巡回や一人R A K Yの取組についても紹介されました。



続いて、朝礼場に移動し、パトロール参加者、特定元方事業者、発注者、当日の作業員（約270名）による「安全集会」を行い、滋賀労働局長から「安全訓話」として、墜落災害防止対策及び熱中症対策の徹底を指示した後、職長による安全十則の唱和が行われました。



安全集会開催状況



滋賀労働局長



職長会代表

「安全集会」の後、現場を巡回し、デッキ施工、窓枠の設置等における手摺りや親綱等による墜落防止対策、巨大ファン、クールダウンスペース（休憩室）の設置等による熱中症対策、フォークリフト作業における接触防止対策等の状況を確認しました。



最上階で説明を受ける労働局長



窓枠設置作業における墜落防止対策



巨大ファンによる身体の冷却



LEDライトによる立入禁止区画の見える化



差筋のコ型化



クールダウンスペースにおける水分・塩分備付け

パトロール終了後、現場事務所に戻り、建設業労働災害防止協会滋賀県支部長及び東近江労働基準監督署の監督官から個別講評、大津労働基準監督署長から総括講評がそれぞれ行われ、当現場の無事故無災害を祈念して閉会しました。



東近江労働基準監督署  
監督官



建設業労働災害防止協会滋賀県支部長



大津労働基準監督署長

このほか、特定元方事業者様から日頃の取組に係る資料をご提供いただきました。

リスク評価推進活動



歩きやすい鉄骨階段  
(段モルタル中止)

安全見える化活動



LEDテープライト照明  
開口部表示 (黄色ネット)

命綱GO活動



鉄骨吊足場用 安全帯ピース①

リスク評価推進活動



徹底した火の粉養生

安全Study活動



安全Study活動 (玉掛け)



ミストファン (1階)



朝礼後 (ポカリ配布)



かき氷 始めました



安全モニタリングシステム  
(熱中症アラート)